令和7年度中国・南昌市への青少年訪問団派遣事業 事後報告書

◆名前：田阪 春馬

江西省及び南昌市に滞在中の様子や本事業で得たこと、感想等をご記入ください。
(1,000字程度)

今回の中国訪問では、中国のスケールの大きさや街の人のやさしさを体験することができました。南昌市は工業都市で道路も広く、現地に到着してすぐに日本との違いを感じました。

初めに驚かされたのは建物の大きさです。どこを見渡しても巨大な建物ばかりで、30階建ての建物など珍しくもありませんでした。近年急成長している中国の姿を肌で感じられたように思います。

学生との交流では、国を挙げて教育に力を入れていることがわかりました。すさまじい勉強量を聞いた時には、自分には耐えられないと感じました。また、現地の学生や若い世代には日本のアニメが人気で、自分の好きな作品を紹介したり、一緒に話したりして会話がはずみました。

中国の文化で特に面白かったのは陶磁器です。日本が始まる前から多くの歴史が刻まれていたことが、作品から伝わってきました。他にも、資料館を訪れたりVRのテーマパークを体験したりと、普通の旅行では味わえないことをたくさん経験でき、とても有意義でした。

この6日間を通して、はじめは少し悪いイメージを持っていた中国のことを正しく知り、魅力に気づかされました。SNSでは偏った情報も多いですが、現地で感じた中国はフレンドリーで親切な人が多い国でした。一部の情報に流されず、自分の目で確かめることの大切さを実感しました。今後は、この体験を日中の友好関係を深める活動につなげたいと思います。

最後に、引率者の皆様や観光交流課の方々、現地でサポートして下さった方々に感謝申し上げます。今までにない貴重な夏休みを過ごすことができました。ありがとうございました。